

神恩感謝



発行所

〒793-8555
愛媛県西条市西田甲797番地

石鎚神社・石鎚本教
電話 (0897) 55-4044

11・12月号



秋季例大祭 御旅所にて

道

「いただきます」

「ごちそう様でした」

「もったいない」

食卓の上に並んだ料理の中で、命を載いていない物は、お水と塩だけ。あとは全て動物と植物の命を載いています。ですから、

「命をいただきます。」

ご馳走とは、もてなす為に美味しいものを集めようとあちらこちら走り回る意味です。その気持ちに感謝して、

「ごちそう様でした。」

ロストフーズという言葉が以前から広がっています。残され無駄になった料理や食材。「もったいない。」とは、

①まだ役に立つのに、無駄にされて惜しい。

②畏れ多い

食物と悔いを残さぬ人生を。どなたもが毎日できる温暖化防止でもあります。子供達の世代のために。今日からでも始めてみましょう。新穀感謝祭の後には、忘年会シーズン、そしてお正月を迎えます。

武智。

十月五日 石鎚本教秋季例大祭

去る十月五日(木)石鎚神社口之宮本社御本殿にて、秋季例大祭が天候にも恵まれ、盛大に斎行されました。

当日は、全国各地より多数の石鎚信徒を始め、神社界政界各界より御来賓のご参拝を賜り午前十時より祭典を斎行。

祭典は、開式太鼓「石鎚立螺之会」の皆様の勇ましい立螺に始まり、神御衣・本教弊・初穂料が奉られ武智宮司が祝詞奏上し、日々の御神恩・五穀豊穰に感謝申し上げ、平岡明筆頭常務総代・本教理事により総代祈願詞が奏上されました。



続いて宮司管長・神社役員・御来賓・各組合長・各教会・遙拝所・講社の関係の方々に玉串拝礼をして頂き、今日の日をお祝い申し上げると共に、それぞれの願事を祈願して厳粛に祭典を終了致しました。



続いて巫女が浦安の舞を奉納



続いて神御衣が

愛媛県 吉田教会

岡山県 東洋大心教会

香川県 導不動院遙拝所

へ、それぞれ下付され、



広島県 広島西教会

が教会等級準三等へ、昇格致しました。



また、神職身分昇級・二級上を名誉宮司十亀興美様より

十亀博行権宮司

曾我部英司祢宜

に渡されました。

来賓祝辞として、

神社本庁長老

伊豫豆比古命神社名誉宮司

長曾我部延昭様

参議院議員 山本順三様

令夫人山本舞祈子様

県議会議員 明比昭治様

方々よりご挨拶を頂戴し、その後、神輿に御神像をお遷し

して神輿渡御が行われ今年是一般のかき夫の方も参加され

ました。また愛媛プロレスの

石鎚山太郎選手も神輿渡御の

かき夫、お餅撒きもして、大

祭を盛り上げてくれていまし

た。樽神輿や敬神婦人会の花

神輿、お稚児行列も賑やかに

社務所前に到着し、一回目の

お餅撒きが行われました。

神輿が御旅所に着御すると、

御旅所祭が執り行われ、奉幣

神事・巫女の舞、西田獅子舞

保存会による「獅子舞」、敬

神婦人会の「手踊り」「石鎚

音頭」が奉納されました。



その後、御神像は還御され、御神像拜戴がなされ、二回目のお餅投げ・福木もその時に併せて撒かれました。福木投げの当選者は

- 一等 空気清浄機
- 松山市 熊 吉雄様
- 二等 タイガー炊飯器
- 松山市 河野 理香様
- 三等 三枚刃シェーバー
- 西条市 伊藤 美佐子様
- 四等 食器乾燥機
- 笠岡市 城戸 留里子様
- 五等 低周波治療器
- 須崎市 谷岡 美喜様

- また、お餅は
- 愛媛県 原井川 平様
 - 元老大顧問 神鏡笏
 - 大分県 軸丸 貞子様
 - 元老大顧問
 - 徳島県 東予崇敬組合 徳島支部 支部長 武田 喜善様
 - 名誉部長
 - 徳島県 金平 敏孝様 特選部長
 - 大分県 成迫 重大様 副取締



- 六等 乾燥機
- 須崎市 谷岡 貫汰様
- 七等 電気ケトル
- 高知市 尾崎 かおり様
- 八等 スティッククリーナ
- 西条市 石井 篤子様

愛媛県 曾我タオル株式会社様よりタオルの奉納をしていただきました。



豊の秋の彩り・実りの時に、今大祭で各方面にてご奉仕・ご奉納を賜りました豊友会・敬神婦人会・信徒の皆様方には、何かと大変でございましたが、大神様の為と思い誠心からのご奉仕をいただき、無事に秋季例大祭を斎行できましたことをこの場を借りて篤くお礼申し上げます。信徒皆様方の今後益々のご健勝、ご多幸を心よりお祈りし、ご報告と致します。

記 仕出 田窪 芳弘

お初穂奉納者

石鎚本教秋季例大祭

五万円以上ご奉納いただきました皆様

《本社》

◎四拾五万円以上

福岡神和教会 佐伯 良子

◎参拾七万円以上

大阪教会 湊 喜美子

◎式拾万円以上

導不動院遙拝所 岩崎 光照

◎壹拾五万円以上

香春教会 川津 守秀
睦美教会 田窪 一善
吉見教会 加藤 法泰

◎壹拾万円以上

吉田教会 越智 汀祐
大打山遙拝所 石崎 昌司
大分石鎚教会 江藤 秀人
靈威教会 中西 幸男
葉山教会 岡村 信一
東雲講社 黒田 明子

株式会社浦松興産

須之内 明吉 中西 幸男
浦松 大八

◎五万円以上

愛知遙拝所 澁谷恵美子
鐘ヶ淵教会 山田 春治
富海教会 松岡 英二
門司教会 加藤 保彦
佐川教会 片岡 抄織
山南嘉和教会 岡本 嘉孝
勝山遙拝所 白石 順子
赤坂教会 木村 稔
神明遙拝所 大西サカエ
石鎚登山ロープウェイ(株) 伊藤 和豊
十亀 興美 浦松 傳
松浦 節子 片岡 抄織
河内 裕美

◎タオル奉納

曾我タオル株式会社 曾我 幸広
(順不同・敬称略)

また、本社での五万円以上のお初穂奉納者につきましては、本社手水舎前に掲載させていただきます。ご奉納心から篤くお礼申し上げます。

令和五年七月十五日()
令和五年十月五日まで

《本社》

◎五拾万円以上

首藤 鈴子

◎壹拾万円以上

和食教会 安岡桂一郎
ウミジ・マルシオ・ヨシアキ 森内 勇

◎五万円以上

富海教会 松岡 英二
倉掛講社 (順不同・敬称略)

また、本社での五万円以上のお初穂奉納者につきましては、本社本殿前掲示板に掲載させていただきます。ご奉納心から篤くお礼申し上げます。

文責 権禰宜 大岡

御奉納

十月五日の

石鎚本教秋季例大祭にて『大幟旗』を新たに境内に御奉納いただきました。

令和五年十月吉日

広島県呉市押込

村山 大介・みき

広島県呉市倉橋町

坂井 幸浩・伸枝

広島県呉市倉橋町

坂井 純・みどり (敬称略)

御奉納誠にありがとうございました。



ご奉納は、本社・成就社・土小屋遙拝殿にて、一体二万五千円で受け付けております。

文責、大岡権禰宜

十月六日
祖霊殿 秋季例大祭・合祀祭齋行

境内にある祖霊殿。石鎚山

御案内

開山の祖・役小角をはじめ社司・宮司、霊峰石鎚の為に力添えを戴きました先達・教師・特別崇敬者にて帰天されました方々をお祀りしており、毎年四月・十月の六日、午前十時より例大祭並びに合祀祭を齋行しています。

秋季例大祭は秋風吹く中、関係御遺族・神社役員のご参列を戴き齋行されました。

合祀されました御霊の在りし日の面影を偲び、思い出の数々を顧みる中に、凜としたお姿、また皆を導く大きな背中、優しいお顔を思い出しながら御霊安かれと祈念致しました。先達・教師の皆様が、築かれました篤志を、また優しき御心を継がれますことをお祈り申し上げます。

この度合祀されました新祭神をご紹介申し上げますと共に、ご冥福をお祈り申し上げます。

※御遺族様には該当の命日月(毎月十五日、月次祭終了後・案内は月を先取りしていません)に命日祭の御案内を差し上げています。住所変更あります方はご一報願います。

※祖霊殿春・秋例大祭のご案内は今年、新たに合祀された御遺族様と過去三年以内に合祀された御遺族の方へ案内を差し上げております。以外の御遺族様も御参列戴き、御霊和めの祭典を共に御奉仕したいと思えます。

春秋大祭・命日祭への数多くの御参列をお待ちしております。

●先達会符の名義変更などお済みでない御遺族様、またご不明な点等ございましたら遠慮無く神社までご連絡下さい。

令和五年 十月六日
祖霊殿合祀祭神名

功労章 銀笏

元老大顧問

権大教正

真木 早月 刀自命

有功 神鏡笏

元老大顧問

少教正

藤田 住子 刀自命

有功 神鏡笏

元老大顧問

大講義

小松 一盛 大人命

有功 神鏡笏

元老大顧問

有功 神鏡笏

元老大顧問

権少教正

権田健次郎 大人命

元老大顧問

権少教正

北村 卓史 大人命

元老大顧問

磯辺 博昭 大人命

元老大顧問

元老

権中講義

横林 深幸 刀自命

名誉大監長

井上 和之 大人命

大監長

高原 榮子 刀自命

大取締

古屋 博規 大人命

先達

荒井 辰子 刀自命

(順不同)



年末年始 祭典・行事 案内

〔本 社〕

詳しくは8ページをご覧ください。

【十二月】
■一日(午前十時より)
**月次祭 併せ
新穀感謝祭**

師走入りの月次祭に併せ、この年の新穀をご神前にお供えし、稔りに感謝申し上げる祭典。

■十三日
正月事始め

すす払い・松迎え
正月を迎える準備を始める日。
正月縁起物の頒布を始めます。

■十五日(午前十時より)
月次祭・命日祭

本年最後の月次祭。また祖霊殿にて当月の命日祭を執り行います。

■二十二日(午後四時より)
星祭祈願始め祭

冬至であるこの日より、明年節分まで朝夕に祈願を行います。

■三十一日(午後五時)
大 祓 式

一年間、知らない間に犯した罪穢を祓い清める祭典。清々しい気持ちで新年に臨みましょう。

年 越 祭

(午後十一時四十五分)

除夜は年神様を迎えるために、心身を清め、一晩中起きているのが年越しの習い。一年間の感謝と来る年の幸せを祈りましょう。

【正月】

■元日(午前零時より)
元 旦 祭

一年の始まりです。初詣を行い、今年一年の無事と平安を神様に手を合わせましょう。

引き続きの神事

御神像拝戴神事

石鎚神社のみで行われる全国唯一の特殊神事。

※祭典の後

招福獅子舞

(西田獅子舞保存会)

縁起行事のご奉納予定

ご本殿にて

新春特別祈祷

境内にて

招福縁起物の頒布

石鎚神社青年部を中心にご奉仕いただく若人等がご本殿授与所にてお待ち致しております。

〔中宮成就社〕

正月元日(午前五時より)

元 旦 祭

一年の始まりを成就社にて。雪化粧をまとった霊峰石鎚山に初日の出を見て、いのちの輝きを感じましょう。

※祭儀の後

御神像拝戴神事





新春特別祈祷





新春招福縁起物頒布

※例年通り成就社初詣参拝者に石鎚神社より、先着五〇〇名の皆様に参拝記念品を贈呈します。

令和6年 厄年表

(数え年)

男性 大厄 42才		
前厄	本厄	後厄
	平成12年生 25才  たつ	
昭和59年生 41才  ね	昭和58年生 42才  お	昭和57年生 43才  いぬ

女性 大厄 33才		
前厄	本厄	後厄
	平成18年生 19才  いぬ	
平成5年生 32才  とり	平成4年生 33才  さる	平成3年生 34才  ひつじ

還暦 61才	昭和39年 昭和30年 昭和23年 昭和20年 昭和12年 昭和10年 昭和元年 大正15年
古稀 70才	
喜寿 77才	
傘寿 80才	
米寿 88才	
卒寿 90才	
白寿 99才	

それぞれの年賀の年齢(数え年)を迎えた年に、神社で年賀のご祈祷を受けた後、家族の皆さんでお祝いするのが通例です。年賀や厄年のお祓いは、古例では2月1日ですが、その前後の日でも差し支えありません。石鎚神社では、年間を通して、年賀、厄よけのお祓いを致しております。

数え年・男女とも共通
年賀

百才以上の方は、毎年お祝い致します。 ※石鎚神社では、この厄年・年賀の年齢での御祓いをお勧めしております。

甥姪	姉妹	従兄弟	姉兄弟	同母方	叔父伯	父方伯	嫡孫	養子	嫡子	妻	夫	同母方	父會母祖	同母方	祖父母	父母	種別	服忌表(服忌令摘記)
三日	三日	三日	二十日	十日	二十日	二十日	十日	十日	二十日	二十日	三十日	遠慮日	二十日	二十日	三十日	五十日	忌	
七日	七日	七日	九十日	三十日	九十日	九十日	三十日	三十日	九十日	九十日	十三月		九十日	九十日	十五日	十三月	服	
<p>一、忌(き)は死穢に触れる事を忌み慎しむ期間のこと、この間は神祭り及び神社参拝などは遠慮しなければならぬとされている。</p> <p>二、服(ぶく)は喪中別に喪服を着用し謹慎の意を表す期間の事で普通神祭りや神社の参拝など差し支えないとされている。</p> <p>三、七才未満の小児には服忌なし、その父母のみ三日間遠慮のこと。</p> <p>四、遠地にあるもので、父母についで、聞いた日から忌五十日、服十三月をうけ、その他のものは聞いた日から忌の残数日のみを受け既に経過しているときは一日遠慮のこと。</p> <p>五、したがって神事は忌明けまで遠慮のこと。但し特に必要あらば忌日数の半分以上経過すれば徐服の祓を受けると差し支えない。</p>																		

星祭り祈願の「ご案内」

令和五年十二月二十二日(冬至)

星祭祈願始め祭 午後四時より

令和六年二月三日(節分の日)

星祭祈願納め祭 午前十一時より

星祭りとは、年の変わり目に各人の持つ「生まれ星」を祭り、悪い年は災難を免れるように、良い年は一層良くなるようにと一年間の幸福と除災の祈願を石鎚大神の御神徳をいただいて、本年以上に幸多き年となりますことを祈願するものであります。

祈願札に、ご氏名を記入奉製し、冬至の日の夕刻より節分の日まで、神職が朝夕に清祓・ご祈願いたします。

満願の日である節分の日には、本社にて古神札神納浄火祭に次いで節分祭・星祭祈願納め祭が斎行されます。

たくさんの方々のお申し込みと祭典の参列を心よりお待ちしております。

記

星祭祈願申し込み要項

*お申し込みは、所属組合長・教会長・遙拝所長を始め、先達教師の各位並びにお世話をこれまでご奉仕の各位を通じてお申し込みください。心当たりが無い方は、本社星祭り係までご連絡ください。

*祈願札は、節分の後にお世話人様に発送し、皆様方にはお世話人様よりお受け取りいただきます。

お願い

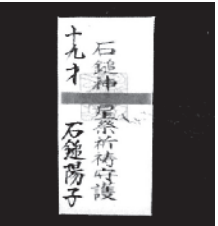
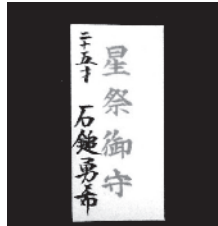
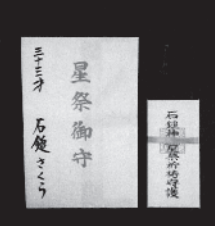
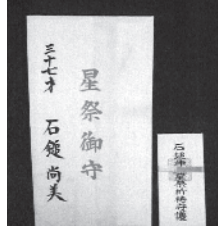
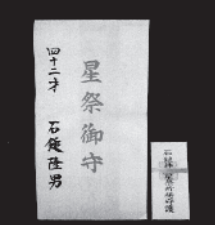

お申し込み各位には、楷書にて文字をはつきり丁寧にご記入ください。これを以て神札に記入しますので、宜しくお願ひします。

また本年も帳面表紙に「お世話人補佐」の欄を設けております。これにはお世話人のお手伝いをしていただいております。これはお世話人のお手伝いをしていただいております。これはお世話人のお手伝いをしていただいております。

確認等を取らせていただくためにお伺いしています。なにとぞご協力お願ひします。また三千円未満でお申し込み頂きました方には、送料百円を別途お供え頂いております。その他、ご質問や不明な点、お問い合わせがありましたら、本社星祭り係までお尋ねください。

以上

星祭り神札六種類、初穂料

 <p>星祭特別六号守 二百円以上 (六号守) 6cm×3cm</p>	 <p>星祭特別五号守 五百円以上 (五号守) 6.5cm×3cm</p>
 <p>星祭特別三号守・六号守 千円以上 (三号守) 9.5cm×6cm</p>	 <p>星祭特別二号守・六号守 二千円以上 (二号守) 13.5cm×7.5cm</p>
 <p>星祭特別一号守・六号守 三千円以上 (一号守) 16cm×9cm</p>	 <p>星祭祈願特別札・六号守 五千円以上 (木札) 高さ37cm</p>

石鎚神社 縁起物招福セット 限定100個 (11月20日より受付開始)

※干支の置物は辰になります



毎年の定期便を承ります。下記の申し込み書、又はFAX、メールにてお知らせ頂ければ幸いです。

受付は、神社メール、FAX、社務所窓口でございます。※当社先達会付をお持ちの方、又は社報申し込みの方のみ電話受付致します。

お申込先：石鎚神社 担当：権禰宜 曾我部洋輔
〒793-8555 愛媛県西条市西田 797

TEL 0897-55-4044

FAX 0897-55-7242

http://ishi@ishizuchisan.jp/



初穂料 ¥5,000円也(送料着払い) (7点) 新しく天てんおみくじが、入っています。

・振り込み用紙を同送致します。(※招福セットは、12月20日迄にご自宅へお届け致します。)

◎7点セットのご案内

①福箕 ②御神酒 ③干支置物 ④御塩 ⑤神社カレンダー ⑥石鎚魔除け猿 ⑦天てんおみくじ

①福箕(ふくみ)(天狗のお面)(寸法:14cm×17cm)

凡そ1300年前、役行者(えんのぎょうじゃ)に開山され日本七霊山の一つ・霊峰石鎚山には、石鎚山法起坊(いしづちざんほうきぼう)という大変お徳の高い天狗様が居られ、その有難い御蔭(おかげ)をお面と箕(み)で現しております。新年の招福・招運に毎年新しくお飾り下さい。

②御神酒(寸法:19cm×7cm)

金粉入りのお目出度い御神酒(おみき)です。一年の契機、好き(よき)時(とき)にお召上がり下さい。

③干支置物(寸法:9cm×14cm)

年毎、新しき干支を陶器の置物にて作成しております。一年間の慶賀としてお飾り下さい。

④御塩(280g) お供え、お清め、お食事等にご利用下さい。

⑤教化カレンダー(上下見開きA3サイズ)

⑥石鎚魔除け猿(寸法:約3cm×約2cm) ※一つ一つ手作りの為、猿の色柄・大きさは全て異なります。

石鎚みやげの伝統であります「石鎚魔除け猿」は、江戸時代の頃よりお山へ登拝する方が身につけていました。石鎚山に懸かる鎖へ一心に身を預けよじ登る姿を現しているとされ、さるは猿(申)=去るに通じ災難厄除などの意味もあります。

⑦天てんおみくじ(天狗のおみくじ) 天てん(天狗様のキャラクター愛称)は幸運を呼ぶ神様です。どうぞ良き所にお飾り下さい。

(※天てんの下の方にある赤い紐を引き抜くと中におみくじと願い事用紙が入っています。願い事用紙は、お願い事をお書きになられ神棚にお供えするか、成就社に参拝される際にご持参下さい。成就社の神職が、願い事を読み上げ致します。)

霊峰石鎚山を住処とする天狗「石鎚山法起坊」は「天狗経」の48天狗に数えられ、日本八大天狗のひとりとも別格ともされる大天狗です。また石鎚山法起坊は、石鎚山を開いた役小角その人であるとも言われています。

きりとり線

招福セット(毎年の定期便・今回のみ)どちらかに○をお願い致します。

氏名		お電話	()
注文個数	個	郵便番号	〒 -
		ご住所	

※招福セットと一緒に振込用紙をお送り致します。

石 鎚 社

新春特別祈祷の御案内

正月一日～三日まで連日

申込みの方々を御祈祷!

三日間、本殿で御祈祷後、

新春特別祈祷神札を、お届けします。

石鎚神社では、新春特別祈祷を、元旦より三日間、斎行致します。

私達は日頃より、天地自然の恵みの中で生かされて戴いており、より豊かな意義のある生活を送っています。その中でもすれば、健康を害し、心の調和が乱れ、人間関係が円滑に行われず、日常生活に支障を生じる場合があります。

新しく年を迎えるに当たり災厄からのがれ、家内仲睦まじく健康に、諸願成就の御守護を願う特別祈祷を、御案内申し上げます。尚、初穂料は下記の通りです。

左記申込用紙を御利用下さい。

新春特別祈祷用木札

① 舟中札



24×7×0.7 (cm)

② 小木札



42×10×1.3 (cm)

③ 大木札



60×13×1.5 (cm)

新春特別祈祷初穂料

- 大木札 壹万円以上
- 小木札 五千円以上
- 舟中札 五千円以上

申込先

〒七九三ー八五五五

愛媛県西条市西田甲七九七

石鎚神社 新春特別祈祷係

TEL ○八九七ー五五ー四〇四四

FAX 五五ー七二四二

石 鎚 神 社 新 春 祈 禱 申 込 書

令和 年 月 日

祈 願 内 容

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 家内安全 | <input type="checkbox"/> 厄除延命 |
| <input type="checkbox"/> 当病平癒 | <input type="checkbox"/> 身体健康 |
| <input type="checkbox"/> 海上安全 | <input type="checkbox"/> 職場安全 |
| <input type="checkbox"/> 試験合格 | <input type="checkbox"/> 商業繁栄 |
| <input type="checkbox"/> 学業成就 | <input type="checkbox"/> 良縁成就 |
| <input type="checkbox"/> 交通安全 | <input type="checkbox"/> 心願成就 |

祈願一件につき右記を参照に
 祈祷木札の番号を記入下さい。
 お札の大きさは10ページを
 参照下さい。

舟中札…① 小木札…② 大木札…③

5,000 円以上…①、②

10,000 円以上…①、②、③

発 送 先

氏 名	
住 所	

〒 番号

No.

祈 禱 者 名 簿

初穂料合計一金

円也

(フリガナ) 氏 名		願意		初穂料	円	木札番号	
生年月日	大平 昭令	年 月 日	住所	〒			
(フリガナ) 氏 名		願意		初穂料	円	木札番号	
生年月日	大平 昭令	年 月 日	住所	〒			

◎送金方法

①郵便振替

②現金書留

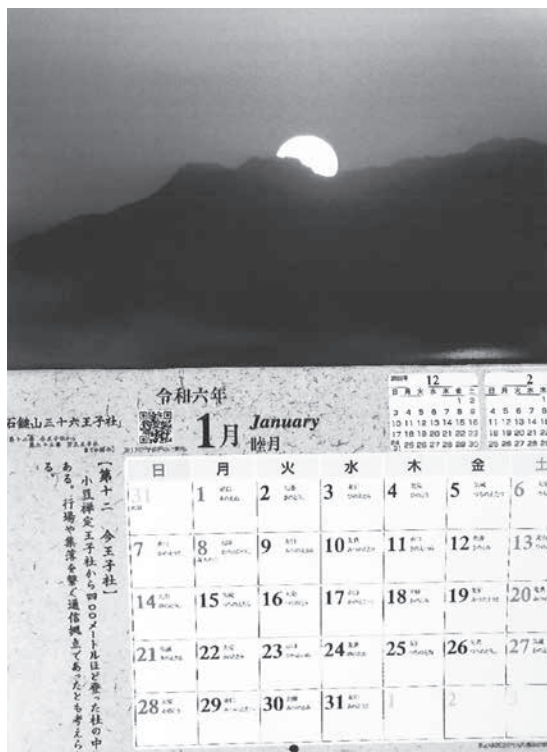
石鎚本教所属教師講習会開催のお知らせ

日 時 令和6年3月8日(金)～10日(日)
場 所 石鎚神社会館
参加資格 石鎚神社先達であること



詳細は12月に教区長・教会・遙拝所へ
お送りするご案内や、社報1・2月号をご覧ください。

石鎚神社教化カレンダー謹製



上下見開き A3サイズ



表紙 A4サイズ

**社務所窓口、
ホームページ等にて受付。**

お申込先：石鎚神社 担当：権禰宜 曾我部洋輔

〒793-8555
愛媛県西条市西田 797

TEL 0897-55-4044

FAX 0897-55-7242

<http://ishi@ishizuchisan.jp/>



初穂料 ¥1,000 送料別途

～ ご案内 ～

教化カレンダーの各月の写真は、当社と深く御縁を頂いております写真愛好家の皆様よりご提供を頂き、各月には『石鎚山36王子社』と致しまして36王子社の説明を掲載しています。日付には、旧暦と六曜を載せておりますのでご活用いただければ幸いです。

----- きりとり線 -----

教化カレンダーお申し込み用紙 金1,000円 合計 円(送料別)
(※郵便局送料値上げの為、送料変更です：1冊：¥300、2～5冊迄¥370、6冊以上着払い)

氏名		お電話	()
注文数	部	郵便番号	〒 -
		ご住所	

八大龍王社 例大祭 令和五年八月八日齋行



石鎚神社中宮成就社境内にご鎮座されます八大龍王社に於きまして、例大祭並びにお火焚き祈願祭が齋行されました。

今回は、お山開き大祭同様、通常に戻し例大祭齋行を計画致しましたが、台風六号の影響の為に、隣の見返り遙拝殿内に祭壇を組んでの齋行となりました。

台風特有、また、お山特有の天候で、日が差したり風雨激しくなったりと目まぐるしく天候が変わるなか、武智宮司が例大祭を言祝ぐ祝詞を奏

上、ご参列いただきました方々に大神様のご守護に感謝する玉串拝礼をしていただきました。

お火焚き祈願祭では、十亀権宮司により、六二三本の祈願木に書かれた皆様の願い事を一本一本読み上げ祈願、また参列者と共に大阪府 瑞明遙拝所長 名誉部長 西川昌宏先生の先導で、大祓詞・般若心経誦誦、成就しました。お札を参列者全員にお渡ししました。



尚、例大祭に合わせ八大龍王社の鈴の尾を大阪府 瑞明遙拝所長 名誉部長 西川昌宏先生よりご奉納していただきました。ご紹介にて篤く御礼申し上げます。

今後も八大龍王社の御神威の発揚、信徒皆様の御多幸をお祈り申し上げます。
記 権禰宜 佐々木



長寿祭齋行 令和五年九月十五日

朝夕に秋の訪れを感じる九月十五日午前十時齋行の月次祭に併せ、数え年八十歳迎えられた神社先達・本教教師・敬神婦人会の皆様を祝う長寿祭が齋行されました。

当日は三名の該当があり、感謝状・ハンテン・敬神婦人会より風呂敷とバッグが贈られました。

八十歳・傘寿を迎えられた皆様方には、石鎚信仰をする中で多くのお陰と喜びがあつたと思います。今後、も大神様のお導きを戴かれ、ご健康でご多幸でありますことをお祈り申し上げます。お名前をご紹介します報告とさせていただきます。

長寿祭御芳名

石鎚敬神婦人会

- ・大分石鎚支部 三重野敏子
- ・足摺岬支部 榊原茂都女
- ・足摺岬支部 戎井 亀子

(順不同・敬称略)

東予崇敬組合大祭 齋行

【日時】
令和五年九月十七日(日)

【場所】
脇町遙拝所

藤本敏男 組合長
名誉部長
少教正



去る九月十七日、美馬市に御座います「脇町遙拝所」で、東予崇敬組合大祭が名誉部長少教正、藤本敏男組合長を中心に盛大かつ厳肅に執り行われました。

当日は、組合管内の教会、遙拝所、講社他崇敬者の方々が参列され、本社より武智宮司以下職員・巫女・平岡明常

務総代本教理事が参列されました。
先ず、開式太鼓・立螺の心地いい響に始まり、祭典開始の拝礼をし、組合長による祝詞奏上し上げました。美馬市の山々に響き渡る心地のいい祝詞を奏上して頂きました。



本社宮司による祝詞奏上、巫女による巫女の舞「豊栄乃舞」を奉納し祭典に華を添え、参列者の方全員が玉串に報恩感謝の誠を捧げ閉式太鼓により祭典を終了しました。
その後、御神像拝戴神事に

移り、先達の方を中心に皆さん一心に背中へお受けになりました。



祭典後には参列して頂いた方々と懇親会をして、和気藹々とした空気の中、昔話にも華が咲きました。



これより後も、東予崇敬組合に所属される教会・遙拝所・講社の皆様が一丸となり、組合の繁栄、教会・遙拝所・講社の弥栄と布教化、更には地域活性化に御尽力なされます事を御礼念申し上げご報告させていただきます。



記 出仕 田窪 芳弘



帰 天

石鎚本教 名誉顧問
下関教会 名誉教会長

最高功労章 金之笏 拝受

石鎚本教功労章 拝受

元老大顧問・大教正

田邊 紀江 刀自命

九月三日 天寿九十二才



田邊紀江命は昭和六年に生を受け、子供心に下関教会初代教会長の田邊初吉翁の御姿に心を打たれ、後日先達を拝命。爾來その生涯を通して石鎚大神様にお仕えされた。

下関教会長を四十九年間ご奉仕、御山開き大祭は五十年以上をご奉仕、山口崇敬組合長、石鎚本教理事を歴任された。石鎚

山の回峰行たる三十六王子社巡拝にも心を尽くされ、山中に響く凜としたお声は今もつて心に響く。

時に叱咤激励する言乃葉は鋭くも正鵠を得て、その口調の向こう側には優しさが溢れ、聞く人を素直にさせた。また時には素敵で可愛い女性であり、人に愛される方であった。告別式は九月七日、下関市内で行われ、武智宮司管長、曾我部洋輔権禰宜が参向、親族である加藤法泰本教理事始め皆様と共に、命に久遠のお別れを申し上げた。送るに甲辞を奉り勲金を呈す。

田邊紀江刀自命の御霊安かれとお祈り申し上げ、ご報告と致します。
文責、武智。

喪主 下関教会 教会長

田邊 和彦 様

〒七五二一〇九三一

山口県下関市松小田三〇六

TEL 〇八三一二四五一〇六六六

教会等級 昇格

令和五年十月五日付

準二等教会

広島県 広島西教会



・教会長 初谷忠彦

・元老・権大講義

・昭和三十五年 宮島遙拝所

として開所、平成十六年教会へ昇格

・遙拝所開所より六十三年目

連綿と祭祀を行い、夏山大祭に団体参拝を重ねる。

・初代所長、初谷衛子先生より、初谷忠彦先生、初谷雅通先生の御跡を継ぎ、忠彦

教会長と、四代に亘り、奉職。

・豊友会員として、夏山大祭

神職室課長を奉仕。

また、頂上社奉仕、成就社

奉仕、春秋大祭、教師講習

会、三十六王子社巡拝にも

奉仕を重ねる

記 権禰宜 佐々木

記 権禰宜 十亀

社報九・十月号 二ページ上段

総括責任者

(正) 西 昭和 大監長

(誤) 西 昭和 副大監長

金幣奉持者

(正) 藤本孝一 特選部長

(誤) 藤本孝一 特別大監長

二番 智の御神像奉持

お詫びと訂正

お詫びと訂正
社報九・十月号にて先達階級に誤りがありました。ここに深くお詫び申し上げます、訂正させていただきます。

社報九・十月号 二ページ上段

総括責任者

(正) 西 昭和 大監長

(誤) 西 昭和 副大監長

金幣奉持者

(正) 藤本孝一 特選部長

(誤) 藤本孝一 特別大監長

二番 智の御神像奉持

(正) 西 勝司 大会長

(誤) 西 勝司 大取締役

ご迷惑をおかけし、衷心よりお詫び申し上げます。

石鎚神社・石鎚本教

社報九・十月号 四ページ

令和五年 表彰状 発令

お山開き大祭において、新先

達五名以上育成された方への

表彰状が発令されました。

大分崇敬組合

尺間嶽教会 田島大悟

今後益々のご活躍をお祈り申

し上げ、ご報告と致します。

記 権禰宜 十亀

記 権禰宜 十亀

投げ餅ご奉納

為、石鎚本教 秋季例大祭

東予崇敬組合 徳島支部
支部長 武田喜善 名誉部長

去る、十月五日、石鎚本教秋季例大祭に、東予崇敬組合の徳島支部の皆さまが、投げ餅を奉納頂きました。

石鎚大神様への献上の思いを込め、丹念に一つずつ作り上げてのご奉納です。

皆様の笑顔のご奉仕に、大神様もお喜び、大祭当日は実に盛大な餅投げとなりました。深く御礼を申し上げます、ご奉仕の皆さまのご紹介と致します。

権宮司 十亀 博行。

ご奉仕・ご奉納者

- 武田 喜善 ・ 星川 弘明
- 藤本 敏男 ・ 藤本 園枝
- 佐藤 幸子 ・ 石田 修
- 藤本 京子 ・ 河合 純子
- 平岡 武子 ・ 石井富三子
- 梶浦 和恵 ・ 武田みどり
- 藤本 幹世 ・ 上田佐知子
- 住友 敬子

(順不同・敬称略)

教会役員 辞令発令

※当該教会名
宗教法人石鎚本教富海教会

※鎮座地
山口県防府市

※代表役員・教会長
(任期は終身)
松岡 英二



※責任役員

(代表役員含み規則定数五名、任期は四年)

- 岡本 正浩 市川 勝巳
- 伊藤 美鈴 佐藤美千代

※監事

(規則定数二名、任期は四年)

- 段田真理子 川上美代子

右、令和五年十月一日付
管長辞令発令

神職身分 二級上 拝受

十亀 博行 権宮司



曾我部英司 禰宜



級、三級、四級とされている。愛媛県内の現在の神職総数四四五名中、二級上の神職は三十一名と、一割にも満たない神職となる。

辞令は神社本庁より発令後、去る秋季例大祭の御神前にて、愛媛県神社庁顧問である十亀興美名誉宮司管長より伝達された。

これも偏に石鎚大神様の賜物と、信徒の皆さまのお陰、当人の長年の功労功績によるものと存じております。心から感謝申し上げます、ご報告と致します。

両名は以降、紫地綾薄共八藤紋の袴を常用します。

文責、武智。

十亀博行権宮司、曾我部英司禰宜に於いてはこのたび揃って全国の神社を包括する神社本庁より神職身分二級上を拝受した。神職階級は浄階を始め、明階、正階、権正階、直階。神職身分は特級を始め一級、二級上、二

NPO
法人

石鎚森の学校活動報告

※石鎚森の学校 2023夏
ブナの森の自然観察会

【日 時】 8月13日(日)

11時〜プログラムスタート〜
15時10分ロープウェイ臨時便
下山解散

【場 所】 石鎚山成就地区(松
山市駅発〜西条市内経由―送
迎バス運行有り)

【講 師】 北添伸夫さん昆虫
や天体のプロカメラマン

【主 催】

NPO法人石鎚森の学校

【特別協力】 石鎚神社

【協 力】 面河溪を愛する会、

石鎚みやま会、石鎚登山ロー

プウェイ(株)

【ツアー実施】

(株) 国際旅行

【参加者】 合計18人

曾我部英司事務局長・岩本昌
美・黒河由佳・十亀雅史各事
務局スタッフ、藤原隆子サ
ポートスタッフ含む

恒例の夏の定例事業が4年
振りに催行されました。リ
ピーターの方も数人含まれ、
今回は曾我部事務局長の後継
予定の十亀雅史さんが見学を
兼ねての初参加。天候も良く、
早朝より山頂を目指す人の車
でロープウェイ下谷駅周辺の
駐車場は一杯でした。



私たちは、ロープウェイ山
頂駅からピクニック園地経由、

リフトを使って北添講師や曾
我部事務局長の自然観察レク
チャーを受けながら成就社境
内を目指しました。標高
1450メートルとはいえ、
日向に出ると結構な暑さを覚
え、高山に居ても以前の成就
地区の涼しさの質が変わって
きているように思えます。

近年、成就地区には観られ
なかったもう少し標高の低い
ところで観る植物や、ナン
ト!猛毒のトリカブト(シコ
クブシ)を今回の観察会で初
めて見つけてしまいました。
また、登山道の所々のリョウ
ブが、鹿の樹皮剥ぎの被害に
遭っています。成就地区の樹
皮剥ぎは、昨年11月に見つけ
てより確実にこのエリアに広
がっています。長年成就地区
で自然観察をしていると自然
環境の変化も見えてきます。
いつまでも麗しいお山であつ
て欲しいと願いつつ、閉会式
での皆さんの笑顔での振り返
りを聴きながら、4年振りの
自然観察会が無事に終了しま
しました。また、石鎚山でお会
いしましょう!

※お山の案内人活動

【日 時】 8月19日(土)

10時ロープウェイ乗車〜15時
ロープウェイ下山解散

【場 所】 石鎚山成就地区

【主 催】 愛媛県&ANAあきん
ど(東京)

【案内人】 NPO法人西条自然学校・

岩田さん/自然分野担当、

法人石鎚森の学校・曾我部事

務局長/伝統・文化分野担当

【参加者】 関東圏から参加し

た3家族8人の親子並びに県

担当課スタッフを始めとする

関係者計18人

【事務局参加】

曾我部英司事務局長、

岩本昌美事務所スタッフ





※第35回 山岳写真家集団
くもの会写真展

今般、愛媛県が地方創生事業を展開するANAあきんど(東京)と連携して、関東圏に住む親子が、豊かな西条市内の自然に囲まれたエリアで働きながら余暇を楽しむ「ワーケーション」のモデルツアーを実施しました。その1日として石鎚山系でのトレッキングガイドの主に伝統・文化分野を曾我部事務局長が担当させて頂いた次第です。

【日 時】 8月24日(木)

会期/8月24日(木)~

8月29日(火) 10時~18時

【場 所】 いよてつ高島屋

南館2階 ふれあいギャラ

リー/松山市湊町

【主 催】 山岳写真家集団

くもの会

【事務局参加】

曾我部英司事務局長、岩本昌美・黒河由佳各事務所スタッフ

くもの会さん恒例の写真展
に行って来ました!

※第1回スーパーサイエンス
カフェ2023に参加

【日 時】 9月17日(日)

13時30分~16時15分

【場 所】 愛媛県生涯学習セ

ンター/松山市上野町

【主 催】 NPO法人森からつづく道

【講演講師】 横山正太郎さん

(農学博士・森林インストラ

クター)

【事例報告】 藤江直子さん

(特定非営利活動法人由良野

の森・理事)

【事務局参加】 松井宏光理事、

黒河由佳事務所スタッフ (NPO

法人森からつづく道の主催者として)、曾我部英司事務局長、岩本昌美事務所スタッフ

今般、森の学校の松井宏光

理事、また黒河由佳事務局ス

タッフらが主催するセミナー

に参加させて頂きました。

先ず、講師の横山正太郎さ

んから「身近なキセキに会い

に行こう!生命の多様性にて

あう森の散歩」と題してお話

を頂き、次いでかつて石鎚山

の成就地区をご案内させて頂

いたNPO法人由良野の森理事・

藤江直子さんからその事例報

告として現在催行している

「森のおさんぽと、おはなし

会」の概要をご披露頂きました。

最後に、参加者が交流会を

兼ねて班分けされ、意見交換

席上で纏めた質問事項など

にお2人からお答えを頂き閉会

となりました。

※FM愛媛 nooday pop 117
石鎚山と石鎚神社を発信

【日 時】 9月27日(水)

12時5分~12時20分(番組は

正午より1時間)

【場 所】 FM愛媛第1スタジオ

オ/松山市竹原町

【番組名&キャスター】

nooday pop & ヒカル

【事務局参加】

曾我部英司事務局長

岩本昌美事務所スタッフ

過日、成就地区をご案内させ

て頂いた方のラジオ番組の生放

送にて、曾我部事務局長が本業

の石鎚神社祢宜の立場と森の

学校事務局長の立場で出演依

頼を頂き、談笑の絶えない

コーナーとなった中、シツカ

リと秋の石鎚山と石鎚神社の

御神像拝戴神事などを発信さ

せていただきました。



文責 事務局長 曾我部英司

石鎚青少年
錬成会
特集号

石 虫 の 声



編集前記

令和五年八月十七日～二十日迄の四日間、三泊四日の日程で第五十六回石鎚青少年錬成会が開催されました。

今年は新型コロナウイルスの流行の影響で三年連続中止となっていたため久しぶりの開催となり、また昨今の世情も影響し少人数での開催となりました。

この、虫の声「第五十六回石鎚青少年錬成会特集号」では、会員の感想や八月二十日に行われました定例総会のご報告を掲載しております。

ぜひご覧ください。





一日目

開講奉告祭 開講式

錬成会の始まりです!



レクリエーション
ミニゲームでみんなの親交を
深めました。



村活動
飯盒を使つての炊飯やカレー
を作りました!



夕食
村活動で作ったカレーを
頂きました!



二日目

朝
清掃奉仕





登 拝
成就社に参拝、ストレッチを
してエイエイオー！で出発です。



遥拝の鳥居



頂上山荘到着！

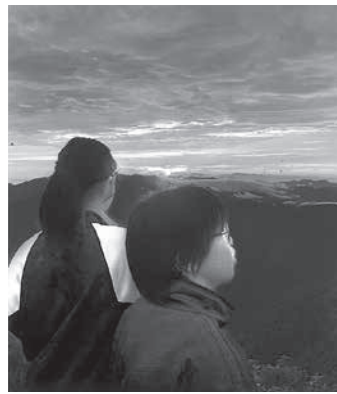
あと少し…



頂上山荘での夕食



頂上での夕拝



御 来 光

三 日 目



下 山



頂上社朝拝



本 社 着
無事に到着できたことを
報告します。



成 就 社 着
無事に下山できたことを
見返遥拝殿より報告します。



閉 講 式
三泊四日の錬成会も終わり
です

四 日 目

委員長挨拶

第五十六回石鎚青少年錬成会で委員長をさせていただいた村田和也です。

まずは、この度の錬成会が無事に終わられたことを非常にうれしく思います。

新型コロナウイルスがここ数年世間を騒がせていたため錬成会開催も数年ぶりとなりました。

そのため青年部全員にとっても久々だったためうまく進行し、終わることができたか非常に心配でありました。

その中でも、錬成会の一歩の行事である二日目の石鎚神社頂上社にむけての登山や三日目の下山の際に大きな怪我をする会員はいなかったため非常に嬉しく思います。

今回人数が少なく悲しい思いもありましたが、会員のみんなの雰囲気を見た感じや、感想文を読んでみて少ない人数だからその会員同士、会員と青年部の距離感も近く節度がある中でも楽しい錬成会にできたのではないかと思います。

会員のみなさんは初めて会う人ばかりで最初は戸惑いながらもすぐに打ち解けたりとできていたため、人と仲良くなることや協調性などを少しばかりでも自分の力としてくれていることでしょう。

その身につけた力を今後何かの役に立ててくれると思っています。

次回の錬成会では今回来てくれた会員の皆さんが友達を誘ってきてくれたりして多くの会員が集まることを切に願っております。

我々青年部も今回以上の錬成会が次回開催できるように尽力しますのでぜひまた会いましょう。

会長挨拶

第五十六回石鎚青少年錬成会が無事に終わることが出来、安心して居る所存でございます。

新型コロナウイルスの影響によって例年より少数での開催となりました。

久方ぶりの開催ということもあり、青年部一丸となって会員の皆様に満足していただけるよう準備して参りました。

初日はみなさんも緊張されているように見えました。石鎚山に登るにあたって打ち解け良い友達ができたと思われれます。

また、今年は山頂でご来光が見ることが出来これも皆様の日頃の行いが良いからだと感じました。

今回の開催に際しまして先生方や職員の皆様方敬神婦人会の皆様また、参加してくださった会員の皆様その保護者の皆様ありがとうございました。

お忙しい中お手伝い頂いた青年部の皆様ありがとうございました。

今回の石鎚錬成会が爽りのあるものになったことを願っております。

事務局挨拶

今回事務局を務めさせていただきました。日野太陽です。

第五十六回石鎚神社青少年錬成会が無事終了したこと心より嬉しく思います。

今回の錬成会は数年ぶりの開催となり、錬成会を経験したことがない青年部が数多く

不安が多く残る中開催に至りましたが、難なく終了したことに安心しております。

今回、私は準備・片付けなどの裏方作業のみ参加させていただいたのですが、実際に会員の方たちとは関わる機会が少なく、現場でのよかったです。点や改善点などを自身で体験できなかつたことを残念に思います。私は会員としての経験もなく、青年部としての経験もなく今回が初めての錬成会だったので、準備・片付けだけでもわからないことが多く思うような活躍ができませんでした。

その中でも次回の錬成会の向上につながるよう総会では事務局としての意見を述べさせていただきます。今回のよかったです点として飯盒炊飯がうまくいつていたと聞いており、次年度からも実施していきたいらと考えています。反省点としては青年部の負担を減らしていくこと、会員の錬成会に対する満足度の向上を目標としています。これからの錬成会の向上、青年部の発展を促進していくために、青年部副会長として尽力していこうと思えます。

会員感想

藤本 仁奈

一番印象に残っているのは、一日目の夕食です。男子がカレーを三々四人前たべていて凄いいました。そのあとデザートでフルーツポンチが出てきたときは大爆笑しました。

二日目は頂上社目指し登山しました。途中雨に降られましたが、無事たどり着くことができました。頂上社で一泊して三日目の朝外に出ると一面の雲海が広がっていました。盤座の鳥居が橙に染まっています。とてもきれいでした。鍊成会で支えてくださったたくさんの方々、そして石鎚の神様に深く感謝しています。

宇佐まなか

頂上に着いたときは雨が降っていて霧で見えなかったけど、次の日は晴れたったので、すごく景色がきれいで見とれていました。三日目の花

火が本当にきれいで一番印象に残っています。

石川 央時

私は、今回久しぶりに鍊成会に参加させて頂きました。四年前の中学一年生の頃に仲の良かった友達とも久しぶりに再会できて前よりの仲を深めることができました。

私は人生の中で石鎚山に四回ほど登りましたが、無事みんな登り切れることができました。石鎚青少年鍊成会に参加できて本当に良かったです。また参加できるのなら参加したいと思いました。

班長 谷岡 貫汰

今回4年ぶりの再会に当たって、班長になりました。

自分のには班長になる気は正直なくて、皆から班長と言われ大変なところも多々あったけど、なんだかんだ楽しかったです。今回僕は怪我をしていて色々なことに苦戦して朝拝などが大変でした。来年も来られたら怪我を直してまた来たいです。

橋本 絵怜菜

私は今回初めて石鎚青少年鍊成会に参加した。一番最初は友達ができるか不安だったけど、だんだん接していったら仲良くなることができました。もうれしかったです。

二日目に待ちに待った石鎚山に登りに行った。予想をはるかに超えているもの思った以上に過酷だった。石がゴツゴツしていて、階段ばかりで息が持たないくらい苦しかった。すごく苦労したけど、あの頂上に登り切ったときの快感は今でも忘れられない。今回鍊成会に来てよかったと体験ができたし、また石鎚青

少年鍊成会に来たいと思った。

十亀 実和子

わたしは、今回初めての鍊成会で仲のいい人ができるかとても心配だったけど話す人ができたときは、とても安心しました。

登山をした時は、上りがとてもしんどかったけど下りは上りよりも楽でした。頂上に登ったことはあるけど泊まることは初めてだったのでとても心配しました。また行きたいです。



青年部が選ぶ ベストシーン

事務局長 寺川
村活動で作ったカレーを頂
いているワンシーン。
本当に美味しい物を食べてい
る時は静かになりますね!



委員長 村田
雨の中ずぶ濡れになりなが
らもやっとの思いで頂上社目
前までこれたワンシーン。
霧が濃くて雨すごいけど空
気が美味しい



ベストシーン

副委員長 宇佐
早起きして見たご来光
みんなで頑張つて登り良
かったと感じた



総会のご報告

八月二十日午後二時に第五
十一回青年部定例総会を開催
しました。

総会では青年部内での新企
画の説明、錬成会の新日程案
などについて話し合いました。
新企画としてガチャガチャ
を企画しており、この企画の
目的として青年部の宣伝効果
を考えています。これから青
年部の人数を拡大していくた
めに考案されました。

また、ガチャガチャの中身
も固まってきており、着々と
進んできています。

錬成会の新日程案の件とし
ては会員の方々が気軽に参加
しやすくあるよう日程を一日
減らすことを考えています。

学業や日常生活等のことで
参加できない人を減らせるよ
う提案しています。

日野

編集後記

この虫の声で錬成会の思い
出が少しでも思い返せました
でしょうか?

第五十六回石鎚青少年錬成
会は無事閉講しましたが、次回
の錬成会に向けて青年部一同
精進してまいりますのでこれ
からもよろしくお願いいたし
ます。

第五十七回石鎚青少年錬成
会でより多くの方が参加され
ることをこころよりお待ちし
ております。



石鎚青年部会報
(発行所) 愛媛県西条市

西田甲七九七

石鎚青年部事務局

(発行代表者) 武智正人

(編集責任者) 寺川 卓

(編集) 村田和也

(印刷所) 村田和也
(有) プリ・キュウ・プレス

ご奉賛をお願いいたします

石鎚神社 本社用 提灯 献灯

設置期間…春大祭・秋大祭
 お山開き大祭
 年末年始(十年間)

設置場所…本社境内
 ※各所ローテーション
 ご奉賛金…一張 金五万円
 (維持管理費を含む)



ご奉賛下さいました方のご住所(県名市名)、お名前(二名まで)を記入させて頂きます。
 ※文字の大きさは記入例と変わることがあります。ご了承ください。



↑ 記入例 ↑

※お申込みは、お電話にて受付させていただきます。

お申込み・お問合わせ
 石鎚神社 担当 大岡
 ☎ 089715514044

受付方法

担当…石鎚神社 大岡
 受付…電話のみ
 受付後…確認票と振替用紙を送付

確認票

提灯への記入内容	電話番号	氏名	住所	石鎚神社本社境内用提灯	ご奉賛申込書
〇県〇市 石鎚太郎 " 花子	電話番号	石鎚太郎	〒〇県〇市〇町 〇丁目〇番地		

神宮大麻 石鎚神社大麻 をお祀りしましょう

神宮大麻、石鎚神社大麻を始め、神札は、新しい年を迎えるとき、また新居などへ引っ越しの際に、ご自宅や会社を御守護（おはらい）して頂く御札です。

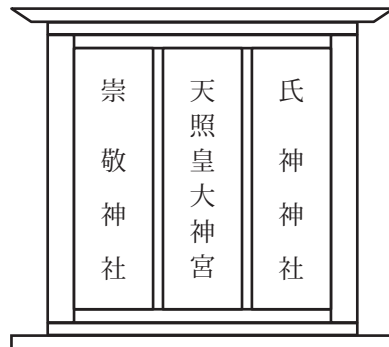
神宮大麻 初穂料一、〇〇〇円



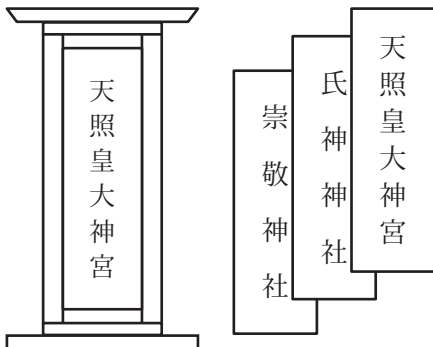
石鎚神社大麻 初穂料一、〇〇〇円



《大麻のまつり方》 横に並べてまつる場合 三社造



重ねてまつる場合 一社造・簡易神棚・御札立



石鎚神社 ホームページ QRコードについて

石鎚神社のホームページはスマートフォンなどにも対応しています。左記QRコードをスマートフォン等のQRコードリーダーなどで読み込みまして頂きましてご覧頂けます。祭典や季節の情報などもアップして参りますので皆様も登録の程、よろしくお願致します。



石鎚神社 HP
QRコード

石 鎚 社 報

〒七九三-八五五五

(発行所) 西条市西田甲七九七

石鎚神社・石鎚本教

【連絡先】電話(〇八九七)

五五-四〇四 本社

五五-七二四二 FAX

五五-四一六八 会館

五五-七二八一 FAX

五九-〇一〇六 成就

五九-〇四〇八 FAX

五三-〇〇〇八 土小屋

【振替】〇二六八〇-〇一八三六〇

【発行代表者】武智 正人

【編集】佐々木 規人

【印刷所】プリ・キユウ・プレス

【購読料】送料共 年五〇〇円

石鎚神社 で 検索